

議会
だより

あしや

対

NO. 179

平成 25 年 11 月 15 日発行
福岡県芦屋町議会

もくじ

9月定例会

□ 9月定例会 (24年度決算、補正予算)

P 2 ~

□ 町政を問う (一般質問)

P 8 ~

□ 行政報告他

P 15 ~

□ 遠賀郡町議会議員研修会

P 18

～老人クラブ連合会スポーツ大会～

10月22日、総合グラウンド

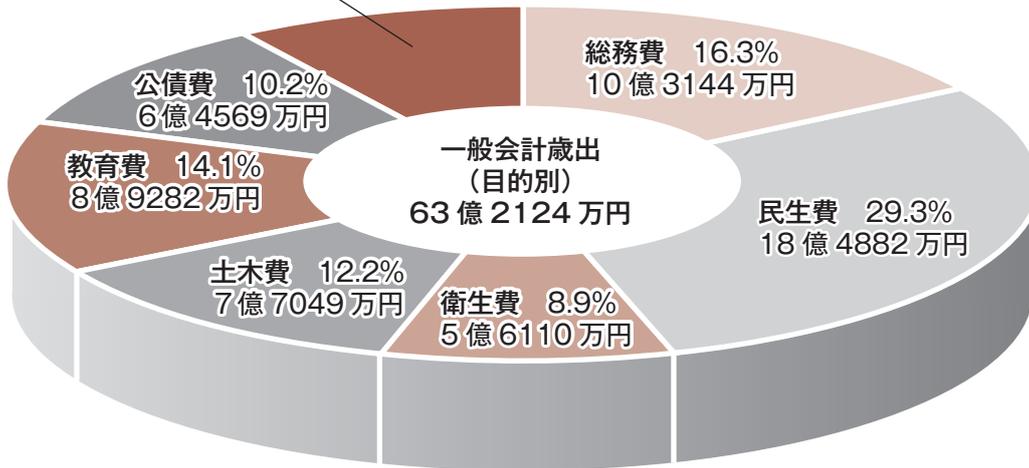
65 億 1627 万円

63 億 2124 万円



どんなことに使われたか (歳出)

その他※ 9.0% 5 億 7088 万円



※【内 訳】	
商工費	1 億 920 万円
農林水産費	9312 万円
諸支出金	373 万円
消防費	2 億 4541 万円
議会費	1 億 1942 万円

主な使いみち

総務関係費



人件費	9 億 8020 万円
電算システム等保守委託料	3390 万円
文書整備業務委託	718 万円

民生関係費



子ども医療費	1186 万円
児童手当	2 億 3608 万円
介護保険広域連合負担金	1 億 9612 万円

保健・衛生費



妊婦健康診査	1188 万円
予防接種	3947 万円
ごみ処理施設等経費負担金	2 億 3635 万円

土木関係費



町道の維持改良	6127 万円
城山公園落石防止柵設置工事	954 万円
江川台法面崩落防止工事	2006 万円
緑ヶ丘保育所外部等改修工事	4546 万円
望海団地外壁改修工事 (A 棟)	3555 万円

教育関係費



東小外部改修工事	9877 万円
山小耐震補強等工事	1 億 1873 万円
小体育館屋根防水改修工事	342 万円
不登校対策指導員派遣業務委託	332 万円

24年度 決算

一般会計 歳入 歳出

主な歳入の推移

	H22	H23	H24
町税	19.9% 12億4165万円	19.5% 12億4230万円	18.8% 12億2480万円
地方交付税	30.2% 18億8175万円	30.2% 19億2126万円	30.6% 19億9414万円
町債	12.4% 7億7223万円	8.4% 5億3427万円	12.1% 7億8832万円
国・県支出金	18.9% 11億8059万円	18.7% 11億9313万円	15.5% 10億840万円
その他	18.5% 11億5501万円 うち競艇事業からの収入 2000万円	23.2% 14億8009万円 うち競艇事業からの収入 2億円	23.0% 15億61万円 うち競艇事業からの収入 2億円
	62億3123万円	63億7105万円	65億1627万円

決算質疑

一般会計

問 仕組み債の米ドル債は5年で償還だったはずだが

答 平成21年に3億円の仕組み債を購入、初年度に3%900万円の利払いがありました。為替レートが所定のレート103.05円まで上がらないため、早期償還が行われていません。5年を過ぎてても早期償還ができていないため、現在金融機関と協議中です。

問 釜の里、歴史の里の収入を高める努力はしているのか

答 旅行代理店に対しての営業活動や、共通利用券を発行するなど努力しています。

専門員を雇用しているが、その効果は

答 差押え処分等の指導を受け、徴収に対しての効果が上がっています。

問 柏原漁港区域内漂着ゴミの除去費用について、国、県、町の負担割合は

答 除去費用（総額約467万円）の8割以上を国、県で負担しています。

問 狩尾池護岸調査委託の結果と、その活用方法は

答 ポーリング調査の結果から沖積層などの地層が判明し、狩尾池改修工事実施設計を行っていきます。

問 競艇事業会計

答 ポートピア勝山の営業費用が7千万円減っているが、その理由は

問 無償譲渡により施設所有者への使用料（売り上げの5%）が不要になったことが主なものです。

問 下水道事業会計

答 24年度は、544万円の損失が出ているが、下水道事業の今後の見通しは

問 25年度も赤字を予測しており、一般会計からの補填と住民負担の見直しが必要となっています。

問 病院事業会計

答 昨年度の耳鼻咽喉科の患者数は、のべ6千人だが、今年度から医師が欠員している。どう対応するのか

答 今年6月に耳鼻咽喉科の医師が退職しました。医師確保に努めているが、非常に厳しい状況です。

平成 25 年度一般会計補正予算

3億1100万円増額

(賛成多数・可決)

歳出の主な内容

補正のあった歳出の主な内容	補正額
江川台公民館横法面崩落防止工事	830万円
子ども子育て支援事業計画策定ニーズ調査委託 (地域の子ども子育てニーズ調査委託)	284万円
指定管理引継業務委託 (緑ヶ丘保育所および子育て支援センターの引継業務委託)	283万円
柏原漁港海岸保全事業費用対効果分析業務委託 (柏原西海岸護岸崩落箇所の調査委託)	780万円
山鹿・浜口線道路改良工事实施設計委託 (はまゆう観光道路釜風呂跡地交差点の道路改良工事に係る実施設計委託)	210万円
はまゆう公園周辺整備 基本・実施設計委託 (夏井ヶ浜釜風呂跡地整備工事に係る実施設計委託)	423万円
公有財産購入費 (大君ごみ焼却場跡地を土地開発基金から買戻す)	2億8158万円

主な議案

芦屋町一般職職員の給与の臨時特例に関する条例の制定
(賛成多数・可決)

25年10月から26年3月までの6カ月間、芦屋町職員の給与を減額する条例です。減額内容は、2級以下4.77%、3級以上7.77%です。

超音波診断装置購入契約の締結
(満場一致・可決)

現在の超音波診断装置は購入後7年以上を経過し、老朽化しているため、新たな機能を有した超音波診断装置を購入します。

指定管理者の指定
(賛成多数・可決)

緑ヶ丘保育所及び子育て支援センターの指定

定管理者として社会福祉法人「長崎たちばな会」を指定します。指定期間は、平成26年4月1日から5年間で



平成25年度芦屋町病院事業会計補正予算(第1号)
(賛成多数・可決)

補正額821万円
・中央病院独立行政法人化支援業務委託
・中央病院人事給与制度及び人事考課制度業務委託

意見書

道州制導入に断固反対する意見書
(満場一致・可決)

全国町村議長会で「住民自治の推進に逆行する」として道州制の導入に反対する決議がなされたことによる意見書です。

人事議案

芦屋町教育委員会委員の選任同意
(同意・満場一致)

平成25年9月19日をもって任期満了となるため、再度中島幸男氏の選任が提案されました。



なかしまさちお 中島幸男 教育長

主な質疑

一般会計補正予算（第2号）

問 山鹿浜口線道路改良工事実施設計委託の内容は

答 はまゆう観光道路の釜風呂跡地の交差点改良工事を行うための実施設計委託です。

問 はまゆう公園周辺整備基本実施設計委託の内容は

答 釜風呂跡地を夏

井ヶ浜一体エリアとして位置付け、平地の部分とその周辺の整備を行うための実施設計委託です。

問 柏原漁港海岸保全事業費用対効果分析業務委託の内容は

答 国の補助を活用する

ため、柏原西方の海岸保全区域で崩落した箇所の改修方法及び費用試算などの調査を行うための業務委託です。

問 子ども・子育て支援事業計画策定業務委託の流れは

答 地域での子ども・子育てニーズを把握した上で、5年を1期とした芦屋町子ども・子育て支援事業計画を策定します。



波に侵食され、護岸が崩落している柏原西方海岸（H 25.10.21）

芦屋町一般職員の給与の臨時特例に関する条例の制定

問 福岡県内では自治体が実施していないが、全国では幾つあるのか

答 全国で230自治体が実施しています

問 6月の臨時会では、議会として否決の意思を示したが、町長は議会の議決の重さについての認識しているのか

答 議会の議決は重く受け止めているが、臨時会では説明不足のところがあり、実施しなければラスパイレス指

数が109となっており、県内で3番目に位置することになります。今回は削減期間を3カ月短縮しています。

指定管理者の指定

問 緑ヶ丘保育所の指定管理者導入にあたっては、職員の定着化、看護師の配置などの取り組みが評価されている。芦屋町でも同様の取り組みを実施するの

答 プレゼンテーションでそのように報告されており、現地調査でもプレゼンの内容を裏付けるものでした。

問 人員の確保等についてはどのように考えているのか

答 緑ヶ丘保育所に勤務している職員を第一優先として考えております。

※注1 ラスパイレス指数

国家公務員（官僚を除く）の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数



カーブが急なはまゆう群生地前の交差点（山鹿浜口線道路）

討 論

討論とは・・・

議案に対して、自分の賛成または反対の意見を表明することです。

芦屋町職員の給与減額条例

田島憲道議員

今、芦屋町の経

域経済をさらに悪化させるだろう。

反 対

機能的状況にある。特に、昨年10月から、自衛官の給料

が削減されている。町の飲食店街は、大打撃を受けている。今回の給与削減案は、景気の悪い町の地

が削減されている。町の飲食店街は、大打撃を受けている。今回の給与削減案は、景気の悪い町の地

が削減されている。町の飲食店街は、大打撃を受けている。今回の給与削減案は、景気の悪い町の地



活性化が求められる商店街

観光協会や社協などの職員まで準じるのだから。また、他の業種にも及ぶかもしれない。

以上の理由から町の商工業者の事を思い反対する。

内海猛年議員

第3回臨時会に

上程された議案では、交付税の削減額は2200万円に

削減総額は4600万円と交付税の削減額より、2400万円も多くなっていた。そのため、職員の生活に与える影響が大きいと判断し、反対した。

しかし、再度上程された議案では、削減期間が3カ月短縮されたことで、職員給与の削減額と交付税の削減額との差が少なくなったことや、東日本大震災

の復興財源確保の趣 考える。

旨及び削減された交付税相当額を確保することによって住民サービスの低下を防げると

平成24年度芦屋町

一般会計決算の認定

妹川征男議員

町は「特別養護老人ホーム申請の疑惑を追及する会」の方々から話し合いを求められ、直接会って話し合えば済んだ内容である。

しかし、町は会わず、業務妨害行為であるという警告書を出した。警告書作成のため町の弁護士委託料10万5千円を支出している。また、25年度の特

別養護老人ホーム建設で、不適切な書類



緑ヶ丘保育所・子育て支援センターの指定管理者の指定

反対

川上誠一議員

町では、柏原保育所の廃止を進め、その後山鹿保育所の指定管理の指定、そして今回の緑ヶ丘保育所、子育て支援センターの指定管理者の導入と5年後の民間移譲を行うという形で市場原理を推進している。

そして今回の「指定管理の指定と、民間委託」と行財政改革の名のもとに町の保育の責任を放棄している。保育行政は町が公的に責任を持って保育を担い、保育所運営、人事、人件費を保証してこそ安定した運営が出来る。行政が責任をおって安定した運営を公共の原則で進めていく事業である。

以上の理由から反対する。

賛成

刀根正幸議員

先日、指定管理者により運営されている武雄市の図書館を視察した。行政経費では、2億1千万円の経費が1億500万円になっている。住民の利用者数においては、開館して4カ月で従来の1年間の利用者数である12万人をすでに達成している。

要は民間の持つノウハウを活かし、住民のために行政を進めたい。このための行政の役割は、その行為が住民にとって、ためになるように、業者を指導していくことである。

何もかも自治体で経営していくことが責任を果たすことではないと考えるため賛成する。



来年4月から指定管理者により運営される緑ヶ丘保育所

9月定例会意見が分かれた議案の賛否一覧

表決にあたり、意見がわかれた議案の賛否について掲載しています。掲載のない議案は、満場一致で可決されました。

○賛成、●反対を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	松上	内海	刀根	妹川	貝掛	田島	辻本	小田	今井	川上	益田	中西	横尾			
芦屋町一般職職員の給与の臨時特例に関する条例の制定	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	議長	9	3	可決
平成25年度芦屋町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	議長	11	1	可決
平成25年度芦屋町病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	議長	10	2	可決
平成24年度芦屋町一般会計決算の認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	議長	10	2	可決
平成24年度芦屋町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	議長	11	1	可決
平成24年度芦屋町モーターボート競走事業会計決算の認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	議長	10	2	可決
指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	議長	11	1	可決

Q

小学校の統廃合を検討してはどうか



つじ もと かず お 夫
辻 本 一 夫

A

校区中心の町づくりに取り組んでおり、現段階では考えていない



芦屋小学校の秋季体育大会
(H25・9・29)

小学校の統廃合

議員 少子化時代で芦屋町の児童数も減少している。近年、教育環境の整備に具体的にどう取り組んできたか。

課長 ハード面では4校の地上デジタル放送対応の配線工事、教務用コンピュータの整備、各校の耐震補強工事、給食センターポイラー改修など。

ソフト面では4年生までの35人学級に3人、小中一貫連携教育に5人、少人数学習指導に2人、イブニングスタデイに5人、ALT（外国語指導助手）に2人等の教員を配置している。

議員 少子化に起因する児童数の変化をどのように捉えているのか。また、10年後の児童数等はどのように予

測しているのか。

課長 本年の5月1日基準日では、山鹿小は児童数431名、16クラス。芦屋小は207名、9クラス。芦屋東小は231名、12クラスである。

10年後の児童数は、山鹿小は391名、14クラス。芦屋小は185名、8クラス。芦屋東小は209名、10クラスとなり、現在よりも5クラス減少となる予測である。

議員 国が示す小学校の適正規模はどのようになっているのか。

教育長 基準というものは無い。少人数であればきめ細かな指導ができるが、学力以外では競争も大事である。学校運営の面では3学級以上になると学年主任が配置されるので、経験上からは18学級がいいと思う。

議員 児童数の減少が進めば現状の3校体制は非効率となり、統廃合は避けられないとの考えが一般的である。統廃合を実施すれば、学力向上の面でも、切磋琢磨できる環境になると思うが、統廃合の検討をしたことはあるか。

教育長 統廃合の話は正式な会議ではないが将来的には避けては通れないと思う。統廃合は教育力と経済的な面もあるので、今後、状況を見ながら対応していきたい。

町長 教育は福祉と共に町の最重要課題である。現在、自治区・小学校区という形の中でバランスの取れた町づくりに取り組んでおり、現段階では、統廃合は考えていない。

※質問の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。



いま井 やす とし 利

Q 病院計画で、今現在決定されている事は

A 病院の存続と独立行政法人化が決定。町民・議会に十分説明し今後を決定する



市場区公民館で行われた「病院の今後について」の説明会の様子

芦屋中央病院

議員 現在決まっている今後の病院の計画、方針は。

課長 病院の存続と独立行政法人化である。

議員 病院の計画を進めるには、町民に十分な説明を行うことが大切であるが、どのように実行するのか。

病院長 病院の広報、町の広報、ホームページを通じて町民に理解と説明を行う。また、住民説明会と自治区ごとの説明会も行う。

議員 病院の独立行政法人化では、財政的な課題を中心に、たくさん課題があると考える。良い病院を作るための考えは。

病院長 独立行政法人化をしても芦屋町の病院であることは、変わらない。

病院の運営が迅速に行えるメリットがある。一方では、業務運営の改善・効率化及び財政内容の改善項目などの目標、計画を定め、町長に示し、議会へ報告することになっており、病院は町の管理を受けるとは現況と大きな違いはない。

また、今後の説明においては、自治区などに出向いて膝詰めで話をする事で、住民から意見をもらい、十分理解を得られるよう努力する。

芦屋町の財政計画

議員 芦屋町の大型施設の維持管理は今後どのように行うのか。

課長 橋梁、下水道、町営住宅については、長寿命化計画を策定し、国からの補助を得て、効率的な修繕を計画する。

議員 国の補助がない事業、国民宿舎、レジャープール、老人憩の家については、どのように維持管理をしていくのか。

課長 目的と維持管理費用を精査し、今後計画をする。

議員 大型施設の維持には相当の費用が必要であり、過疎債も平成32年で終了する中、どのように資金運用していくのか。

課長 持続可能な財政運営のために、まず、現在借りている退職手当債を、繰り上げて返済し、同時に基金の積み立てを行うことで将来の健全な財政を目指す。



※質問の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。





かわ 川 かみ 上 せい 誠 いち

Q

入札改革を進める公契約条例を制定すべきではないか

A

県内では直方市が検討している。動向を注視し、取り組みを総合的に判断したい

工事名	予定価格	最低制限価格 (予定価格の80%)	入札価格 (落札率80%)
山鹿小学校耐震補強等工事	134,524,000 円	107,619,200 円	107,619,200 円
芦屋東小学校外部改修工事	116,291,000 円	93,032,800 円	93,032,800 円
緑ヶ丘保育所外部改修工事	53,768,000 円	43,014,400 円	43,014,400 円

平成24年度の主な工事の入札結果

公契約条例

議員 町が発注する請負契約において、工事及びサービスの質の向上を図り過当競争や不当なダンピング^{注2}を排除、地域社会の活性化に寄与する公契約条例を制定すべきではないか。

課長 この条例は、国の公共サービス基本法に基づいて制定されている。県内では直方市が検討している。情報が収集はしているが県内の取り組み状況を総合的に判断したい。

議員 芦屋町の公契約の改革の取り組みはどうなっているのか。

課長 最低制限価格及び前払い金制度、契約保証金制度の見直しなどをを行い改善している。

議員 全国的には一般

※質問の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

競争入札や総合評価方式などを取り入れて改革をしているが、低価格入札が解消されずに、そのツケは業者にしわ寄せされている。今年3月、国から労働単価の改定が要請されたが行ったのか。

課長 都市整備課等での設計では反映している。

議員 平均15・1%の引き上げが行われている。公契約条例を制定すれば、働く人の賃金アップを町が指導できる。全国的には野田市が先駆けて制定した。町長は公契約条例をどのように考えるのか。

町長 地域性の問題や規制緩和などの問題、また最低賃金のことなどもあるので検証が必要である。

芦屋中央病院の地方独立行政法人化

議員 独立行政法人の

移行について病院職員の理解は得たのか。

課長 病院職員にアンケートを実施し、結果報告を行った。現段階では十分な理解は得られていないが、今後も丁寧な説明を行っていく。

課長 職員労働組合とは、9月2日に職員の身分及び処遇に関する基本合意ができた。

議員 公共サービス基本法の趣旨に、独立行政法人化などを行う時は、職員や労働組合、住民に情報と学習の提供をし、理解を得るようになっていく。地域医療のシンポジウム等を開催し理解を求めるべきでないか。

病院長 昨年の住民説明会は参加者がやや少なかつたので、30箇所
の自治区を回り説明を行い理解を広げたい。

※注2 ダンピング
一般的には採算を無視した低い価格で商品を投売りすること



お だ たけ と
小 田 武 人

Q 自転車の交通安全対策の取り組みは

A 芦屋町交通安全推進協議会で基本方針を定め、それに基づき広報啓発活動を実施



秋の交通安全キャンペーンで芦屋特産物の田屋ねぎを配布した

自転車利用者の交通安全対策

議員 自転車の利用者が増え、自転車が絡む事故も増加している。子どもや高齢者が安心して、安全に走行するためにどのような対策を講じているのか。

課長 芦屋町交通安全推進協議会において、今年の秋の交通安全市民運動の基本方針を、子どもと高齢者の交通事故防止としている。また、飲酒運転撲滅、自転車の交通事故防止、シートベルト、チャイルドシート着用徹底の3点を重点項目として広報啓発活動を行っている。

回程度、交通安全教室を実施し、4年生以上に自転車の乗り方指導を行っている。中学校では、登下校時にヘルメットを着用させ、乗車時のマナーを指導している。

議員 自転車の事故や違反は、一般の車と同様、道路交通法が適用されるといふことを、特に子ども達に認識させる必要があると思うが、周知しているか。

課長 各学校での交通安全教室で指導しているが、学校管理下を離れた場合においても、学校と家庭が連携しながら子どもを事故から守る体制をとっている。

議員 交通安全の重点的な施策として、飲酒運転の撲滅、高齢者の事故防止、そして自転車の安全利用の推進の3つがある。自転車が絡む事故が社会問題となっているため、県民運動の大きな項目の一つとして挙がっている。

自転車による飲酒運転の禁止、2人乗りや2台以上での並進禁止、夜間の前面ライト、後部反射板の設置など多くの義務がある。また、傘差し運転や携帯電話を利用しながら運転して、歩行者に怪我を負わせた場合には、多額の損害賠償が発生する。このことについても啓発が必要ではないか。

課長 自転車で事故を起こした場合、刑事罰や高額な賠償金の事例もあるので、自転車事故で問われる責任などを具体的に啓発したい。

この他に「町有地の有効活用」の質問をしました。

課長 小中学校で、25年度に4件の接触事故が起きており、全児童、生徒に注意を行っている。小学校では、毎年1

※質問の内容、答弁は紙面の都合上、要約してあります。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

Q

幼保、小中学校の防災教育の実態は



ますだみ恵子 益田美恵子

A

各々で避難訓練や防災教育などを実施



毎月実施している若葉保育所での避難訓練（火災・地震・竜巻など）

※質問の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

学校防災

議員 東日本大震災を契機として防災教育が注目され、「継続は力なり」と言われるように、継続的に避難体制の周知徹底、非常食の用意、避難ルートの確認、防災教育などを推進するべきと思うが。

課長 幼稚園、小中学校とも実施している。

幼稚園は、①サイレン、非常ベルを鳴らす②放送により指示を出す③避難を開始させるという訓練など、命の大切さ、素早い避難の重要さを学習している。

小中学校では、教科、道徳等で生命尊重、思いやり等規範意識の学習。防災週間に全校集会などで、防災の心がけや、実際の行動等を指導している。

課長 保育所では、毎月避難訓練を実施し、非常食の試食や職員の救命講習も行っているところもある。

議員 公立学校の防災備蓄割合は、福岡県が一番低いと言われているが、町立学校の備蓄率は何か。

課長 学校内には、飲料水、非常食の備蓄はしていない。

課長 基本は住民が家庭や地域などで備蓄し、行政は補完的、広域的な備蓄調達体制の確保に努めている。

熱中症対策

議員 史上最高の猛暑日が続いた8月、予報では9月の気温も例年より高いと報じられており、部活、体育授業、運動会の練習時の熱中症対策として、噴霧器付き大型扇風機（ミス

トファン）を導入する計画はあるか。

課長 現時点ではない。現状の避暑対策は山鹿小は、プレハブ校舎の3年、5年、なのはな学級にエアコン設置。1、2、4、6年には、PTAから寄付された冷風機が1台ずつ、ひまわり学級に扇風機が1台。芦屋小には、各教室に1台の扇風機。東小と中学校にはない。

議員 各クラスや体育館等に温度計は設置しているか。

課長 設置していない。
議員 ミストファンは必要な時期だけリースで利用できる。
熱中症と思われる事例があったか。

課長 現時点ではない。

町長 議員からの問題提起と受け止めておきたい。



お 川 征 妹
お 川 征 妹

Q 水路横の分筆が通学路の安全対策ということを信じたのか

A 事業者が説明したことであり、信じる、信じないは選定委員会の委員の問題



不採択となった土地と隣接する民家の間の水路

特別養護老人ホーム
△不採択の真相

議員 町は土地の利用者の同意書が出ていないのになぜ受理したのか。

課長 現在、町は提訴されており答弁は控える。

議員 字名の間違った同意書を訂正することなくなぜ受理したのか。

課長 書類上のミスを確認。同意書は事業者の責任で用意するもの。

議員 分筆は通学路の安全対策という理由で受理しているが、これら不適切な応募書類ではなかったか。水路の横の分筆が通学路の安全対策という理由づけをなぜ信じたのか。

課長 信じる、信じないということではなく、選定委員会の中で、事業者がプレゼンテーションにおいて説明した。

議員 11月9日の時

点で、町は応募書類の内容はわかっていたはず。審査権を持つ芦屋町がそれを受理すること自体、町がつくった留意事項に違反するのではないか。

課長 分筆が適当か否かは県と常に適宜調整したうえで受理した。

議員 福祉課担当者は隣接地権者の同意について審査もせず、裏付けも取らず、県に責任を転嫁していると思われる。職務上の義務に違反していると考えられる。しかし、担当者の判断でできるものでもない。上司である町長の命令に従って進められたと感じるがどうか。

町長 県に必ず相談してやるようにと言っており、町は粛々と職務に当たってきた。

山鹿貝塚及び城山の現状と整備

議員 山鹿貝塚及び城

課長 山鹿貝塚保護を

大前提とした遺跡管理について県文化財保護課と協議を進めている。同時に防風保安林を管理している林野庁に対して定期的な管理及び処理について適切に行うようお願いしていく。

議員 城山の案内板は「汚さずに守ろう自然の美しさ芦屋町」と記しているが、カビが生え、外柵は朽ち果て、散策路は傷んだまま。放置しておく土砂崩れの恐れもある。

課長 財政状況が厳しい中で財源の確保がなかなかできず、公園の整備が十分に行き届いていない。

※質問の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

Q

いきいきと暮らせる町づくりの方向性は

A

住まい、医療、介護、予防、生活支援などを行う地域包括ケアシステムを構築



と ね ま さ ゆ き
力 根 正 幸



老人クラブスポーツ大会で元気に競技している参加者

いきいきと暮らせる町づくりの現状と方向性

議員 今後の芦屋町の人口動態はどのようになるか。

課長 本年3月末の人口は1万5038人、世帯数6543世帯、その内、高齢者夫婦の世帯672世帯、単身世帯1081世帯で、男性単身は278世帯、女性単身は803世帯。

3年後の推計値は難しいが、過去3力年で推計すると、人口は626人が減少し、高齢者夫婦が56世帯、単身世帯61世帯増加していく。

議員 国民健康保険医療費の24年度総額及び3年後の推計値と基金の額は。

課長 国民健康保険と後期高齢者の医療費については、国保

が12億2600万円、後期高齢者医療が1億4300万円。

過去の数値から推計して、国民健康保険は緩やかな増加、後期高齢者は3力年で12%増加している、この傾向は今後も続くものと考えられる。

また、国民健康保険給付の支払準備基金は26万9411円。

議員 この基金は、10年前には2億円以上有していたが、減少した原因と理由は。

副町長 基金については行財政改革で、使用できるものは使っていくと運用をしてきたが、今後、どのようにしていくべきかを住民課及び財政課で調整し、たうえで検討する。

議員 高齢者・単身世帯に、行政上でのように進めていくのか。また、地域福祉に

おける個人情報の取り扱いをどのように考えていくのか。

課長 国では団塊の世代が75歳以上になる平成37年度までに、住まい、医療、介護、予防、生活支援などを一体的に行う地域包括ケアシステムを構築することを目指し、それに合わせた事務を行う。

また、地域福祉に関し、現在、社会福祉協議会と連携して、愛の福祉ネットワーク事業などを実施している。

必要な情報は、民生委員に守秘義務を付して提供しているが、地域との情報の共有化には至っていない。個人情報には災害時を含め、限定した共有化は必要であり、今後検討していく。

この他に「西川のポータル対策と漁業振興策」の質問をしました。

※質問の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

行政報告

行政報告とは・・・

町長が議会を通じて町の重要な問題の経過等を住民に報告するものです。



侵食された海浜公園奥の芦屋海岸 (H25.10.29)

芦屋町・岡垣町海岸保全対策協議会の概要

芦屋町から岡垣町までの海岸侵食と砂の堆積など、海岸に関する諸問題について、昨年11月から現地視察と併せて6回協議をしていきます。

動きを把握する調査の実施など13項目の要望を行います。

緑ヶ丘保育所と子育て支援センター指定管理者の選定

7月31日まで公募した結果、2事業者から申請があり、選定委員会での項目を評価し、選定しました。

◆ 良質な保育を行うため、保育士の処遇を厚くすることで職員の定着化が図られている。

◆ 看護師を各園に配置している。

◆ 障がい児保育に対する積極的姿勢。

◆ 一時保育の受け入れにおける環境整備。

◆ 各園に栄養士を配置し、食育を推進し

ている。

芦屋釜風呂跡地活用検討プロジェクト

活用計画について
① 役場係長による検討会
② 役場課長による検討会
③ 7月から8月に住民ワークショップによる検討会を実施し、短期、中期、長期整備の基本的考えと夏井ヶ浜はまゆう公園の一部との位置づけが示されました。これを受け中期的なことを見据えながら、短期的な整備を行うことにしました。

障がい児のための放課後等デイサービスの部

障がいのある児童・生徒の健全育成と、保護者の養育負担の軽減をはかるため、放課後等デイサービスを芦屋小学校の空き教室を利用

用して実施します。現在、空き教室の改修工事をしており、11月1日を開所日として準備を進めています。

その他の報告

注3に「日刀保たたら」への芦屋釜の寄贈

・ 認知症対応型共同生活介護の整備事業者の公募結果
・ あしや花火大会の開

舎完成

・ 職員採用募集
・ 財政健全化の動向
・ 遠賀郡消防本部新庁舎完成

※注3 日刀保たたら
釜の里に釜を作る材料の和ずくを供給している島根県奥出雲のたたら製鉄の工房



芦屋小学校の空き教室に整備された障がい児の放課後等デイサービスの部屋

郡消防本部が完成

装備の近代化で
即時対応体制が整う

9月1日、郡消防本部の落成式が行われ、各部の落成式が行われ、密にした迅速な即時対応体制が整いました。

新庁舎には防災・救急講習ができる多目的ホールや将来の防災を担うにふさわしい高機能の司令センターが設置され、常備消防の拠点整備を図ることができま

また、「安全・安心で住みよいまちづくり」を基本目標に、地域の災害活動等の防災対策や救急救命の啓発及び



遠賀郡消防本部落成式でのテープカットの様子（H 25.9.1）

日程

7月1日から3日

視察先

兵庫県播磨町
大阪府河内長野市

視察者

横尾武志・辻本一夫
貝掛俊之・内海猛年

播磨町

議会改革について

議会の活性化の取組みとして特に力を入れているのが、年2回開催されている議会報告会です。しかし、回を

行政視察レポート (兵庫県播磨町ほか 神奈川県開成町ほか)

重ねること

加者の減少と毎回同じ町民の発言の場になっていくという問題点も指摘されていました。

また、執行機関との緊張維持及び町民への情報発信、町民との対話などを推進する目的で議会基本条例が制定されています。

河内長野市

協働事業について

「行政主導型から協働型への移行」行政が住民ニーズにきめ細かに対応するのは厳しい状況にあるため、市民・事業者が知恵を出し合い、資源を補い、社会や地域の課題解決に向け協働のまちづくりに取り組まれています。

日程

8月21日から23日

視察先

神奈川県開成町
福島県いわき市

視察者

小田武人・松上宏幸
益田美恵子

開成町

議会改革について

開成町議会では、平成22年に関東では初の通年議会を導入するなど、議会の更なる活性化



各公共施設に設置されている授乳室（河内長野市役所ロビー）

いわき市

久ノ浜商工会の取り組みについて

久ノ浜では、海沿いに立地する約800mに渡る商店街が津波によって壊滅しました。商工会は小学校の校庭の一部を借り上げ、仮設の商店街を作り、町の復興に務めています。

瓦礫や道路は整備されていますでしたが、流された民家の跡地は、手付かずで、早期の復興を強く願うばかりでした。

遠賀中間広域行政事務 組合議会レポート

火葬施設 「天生園」

遠賀町にある火葬施設「天生園」は、昭和48年の供用開始から40年が経過し施設が老朽化していま

す。また、今後増加すると予想される火葬需要にも対応する必要があるため、現在、建て替え工事が行われています。場所は、現施設の敷地内です。



火葬施設天生園建て替え工事 (H 25.9.12)

工事は、

平成23年12月に造成工事を着工し、現在は建物と火葬炉の

設備工事が行われています。今後は、平成25年12月末までに、建物と火葬炉の工事を終了し、試運転を経て、4月から新施設の供用開始。その後、旧施設の解体工事及び屋外付帯

養護老人ホーム 「遠賀静光園」

遠賀町にある養護老人ホーム静光園は、昭和36年に建設以来、公営で運営してきました。しかし、経費節減のため、施設を民間移譲することにし、平成24年度に、移譲先の公募、選定を行いました。

その結果、今年の4月から社会福祉法人松快園に移譲され、現在、サービスが低下することなく、運営が行われています。

介護保険広域連合議会 レポート

平成24年度 決算審査

7月29日、福岡市内で福岡県介護保険広域連合議会第2回定例会が開かれました。

今議会の主な議案は、平成24年度一般会計決算と特別会計予算です。

一般会計は33の構成市町村からの負担金が主な財源で、ほとんどが介護保険本部職員の給与に充てられます。決算額は歳入が8億9千万円、歳出は8億5千万円で、翌年度繰越分は4千万円になっています。

特別会計は、ほとんどが介護保険サービスに使われ、き下げることを求める反対意見もありました。また、国の社会保障制度国民会議では要支援及び軽度の要介護者を介護給付から除外し、市町村の地域支援事業に移そうとしている計画についての質問もありました。

介護給付費準備基金積立金(貯金)は、24年度当初6億円取り崩され、新たに3億円積み立てられ、基金残高は15億円となりました。

特別会計の採決にあたり、基金を活用して保険料を引



介護保険広域連合議会 決算審査の様子 (H 25.7.29)

町民体育祭に参加

笑顔あり！絆あり！

地域力で芦屋魂

心地よい秋空の下、第56回町民体育祭が10月13日（日）に総合運動公園で行われました。今大会のテーマは、

参加団体は、30自治区（一部連合）と各種団体29チーム。競技参加延べ人数2092人。

飲食店ブースが華を添える中、熱狂する皆さんの応援で会場は埋めつくされました。

私たち議会チームは、2つの障害物競走と各種団体男子リレー（400m）に出場しました。競技中、最大の見どころとなるリレーでは、バ



白くなっちゃいなよに参加（H 25.10.13）

トンと落とすも、2位でゴールする大健闘！どの競技も

大城文華さん（芦屋中1年）の『笑顔あり！絆あり！地域力で芦屋魂』そのテーマにふさわしい和気あいあいとした熱戦が繰り広げられ、地域の心がひとつにつながった一日になりました。

遠賀郡町議会議員研修会

講師

前北九州市長 末吉興一氏

10月30日（水）岡垣町「いこいの里」において、遠賀郡町議会議員研修会が開催されました。

研修内容は、前北九州市長（現 国際アジア研究センター理事）の末吉興一氏を招いて、『隣の首長、5期20年の経験を語る』と題して講演が行われました。末吉氏は、市長在任中は徹底した現場主義を貫いた人であり、「町長と議会、それと職員

が変われば自治体は変わる。首長は経営者であり、政治家は結果責任だ。」と熱く語られました。

また、遠賀川流域圏を大事にし、この地域をどのようにデザインするのか。北九州、福岡の両都市間において、どういう住みやすさを追求するのか。そのためにも特徴や欠点でもいいから大きく活かすこと。また、ビジョンを共有する等々、町づくりへの貴重な助言をたくさん頂きました。



末吉興一氏による講演の様子（H 25.10.30）

議員控室

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、五輪開催による経済効果は約3兆円と試算されています。

1964年東京オリンピックが開催された年には、東海道新幹線・東京モノレール・名神高速道路の開業、カラーテレビの普及など、日本経済に「オリンピック景気」と言われる好景気をもたらしました。2020年の開催に向けて日本経済が好転し、私たちの生活が1日でも早く安定することを願うものです。

内海猛年

議会広報常任委員会では、議員手作りによる「議会だよりあしや」（8月20日発行）を発行することができました。読者の方から「紙面が読みやすくなりました」「文書が分かりやすく、まとまっている」などうれしい声をいただき、委員一同やりがいを感じているところです。

これからも、みなさんのご意見を参考に議会の活動報告やきめ細かな情報提供に努めていきたいと考えています。

内海猛年

【発行責任者】

議長 横尾 武志

【議会広報常任委員会】

- 委員長 川上 誠一
- 副委員長 内海 猛年
- 委員 益田 美恵子
- 委員 辻本 一夫
- 委員 田島 憲道
- 委員 貝掛 俊之